

第1回協議会の主な意見と対応方針

資料1

- 第1回協議会の主な意見と対応方針を整理した。

	主な意見	対応方針(案)
	(1)計画策定の背景について	
	意見無し	
	(2)自転車に関する区の現状と課題について	
①	＜交通基盤＞ ・道路交通法上の自転車レーンなどの扱いや、走るルールと停めるルールの違いについて教えてほしい。【大島】	・各整備形態の道路交通法上の扱いや、走行時と駐車時のルールの違いについて、整理する。 (添付1参照)
②	＜交通基盤＞ ・シェアサイクルは同一ポート発着の利用が多いとの説明であるが、全利用の90%以上は異なるポート発着である点を留意する必要がある。【下竹】	・シェアサイクルのデータを借用して、改めて分析を行った。 (添付1参照)
③	＜交通特性＞ ・駐輪場が多く整備されているが、放置自転車が多い。これは、一時利用の駐輪場を含めても駐車可能台数を上回る需要があつて止められないのか、それとも料金が高いなどの理由で一時利用の駐輪場に止めたくないのか理由を把握しているか。【鈴木】	・一時利用の駐輪場の利用実態について、各駐輪場の駐輪可能台数及び料金と併せて整理した。 (添付1参照)
④	＜交通特性＞ ・23区別の駅前放置自転車台数が整理されているが、上位に都心区が集中していることから分かるように駅密度が異なる中で同列に比較するのは正確な比較にならないと思う。駅数や駅周辺の駐輪場の駐輪可能台数等を考慮して分析すべきと考える。【池田】	・各自治体の駅数を考慮のうえ、再度分析を行った。(添付1参照)
⑤	＜観光＞ ・観光施設として整理されているが、観光という位置付けが適切な施設等か確認頂きたい。【池田】	・区内の観光施設や分類を再確認し、図を修正する。(資料4参照)

第1回協議会の主な意見と対応方針



	主な意見	対応方針(案)
(2) 自転車に関する区の現状と課題について (続き)		
⑦	＜新たなモビリティ＞ ・計画の対象として特定小型原動機付自転車が含まれているので電動キックボードの会社を委員に入れるべきではないか。【小林】	・電動キックボードの会社はシェアサイクル協会に所属しているため、協会で意見を集約いただき、本協議会の中で議論する方針とする。また、電動キックボードの会社も含めて、今後は関係企業に直接ヒアリングをしながら、自転車活用推進計画の施策の内容等に反映していきたいと考えている。
⑧	＜新たなモビリティ＞ ・電動アシスト自転車と特定小型原動機付自転車は異なるものであるため、混同しないよう注意する必要がある。【高橋】	・電動キックボードも含め、各車両の基準を整理した資料を作成する。 (添付1参照)
(3) 計画の方向性について		
⑨	＜自転車活用推進計画＞ ・将来像、個別方針の「賑わい創出」という表現は、既に歩行者が多く滞在時間も長い千代田区では適さないと感じる。【鈴木】 ・上位計画のキーワード「賑わい」に囚われず「安全」、「快適」、「周遊」の視点で検討した方が良い。【池田】	・将来像、個別方針については、ご指摘を踏まえ、本協議会で変更案を提示する。 (資料3)
⑩	＜自転車活用推進計画＞ ・個別方針では、多様なモビリティとのシームレスな移動を打ち出しているが、現在でもバス停の近くにシェアリングポートがあったりして一部実現できていると感じている。具体的に何の交通モード同士をつながたいのか明確に整理してほしい。【鈴木】	・今後、各交通モードの実態および連携可能性等を整理したうえで、施策に反映していきたい。
⑪	＜自転車活用推進計画＞ ・現在の利用実態と計画の目標としてどのような利用をしてほしいかは異なる可能性がある。その事象が何故発生しているかを踏まえ計画を立てて頂きたい。【鈴木】	・各事象の発生理由を踏まえ、計画を作成する。また、アンケート調査において、「利用実態」と「本当はどのように利用したいか」は、切り分けて設問を構築した。(資料2参照)
⑫	＜自転車ネットワーク計画＞ ・ここ1年ほど複数台で走行する自転車ツアーの団体を区内で見かけることが増えた。自転車走行空間の整備という観点では、今後見過ごせない存在と感じた。【藤田】	・利用実態を正しく把握するため、区内で自転車ツアーを企画する団体へのヒアリングを実施した。聞き取った内容を踏まえ、引き続き施策に反映していきたい。

第1回協議会の主な意見と対応方針



	主な意見	対応方針(案)
(4) アンケート調査について		
⑬	＜来訪者アンケート＞ ・自転車で千代田区に来訪する方が駐輪の多数を占めると考える。そのため、アンケートの対象は、観光客に絞らず、区外から自転車で訪れている方を対象に、来訪目的や自転車で来た理由等を問うアンケートになると良い。【池田】 ・自転車利用という観点では、区外在住で区内在勤の方が圧倒的に多いと思われるが、事業者向けアンケート調査での取得サンプル数が少ないと感じたので再検討頂きたい。【河原】	・来訪者アンケートでは、観光客のほか、区外からの買い物客や通勤・通学者も対象に含め、幅広く回答を収集した。また、現在区内で自転車を利用していない人からも意見を取得した。 ・区外在住で区内在勤の方は、来訪者アンケートの対象としており、取得サンプル数についてはご指摘を踏まえ拡大する。具体的には、計400サンプル(観光客・買い物客200サンプル、通勤・通学者200サンプル)を目標とする。 (資料2参照)
(5) 計画策定スケジュールについて		
意見無し		
(6) その他		
⑭	・交通管理者として自転車と自動車接触する可能性が高いナビマーク・ナビラインよりも自転車専用通行帯の整備を進めたいと考えている。長期的なスパンで構わないので、千代田区の自転車専用通行帯の整備計画を提示頂きたい。【松本】	・自転車ネットワーク計画の策定に向けて、路線選定などの考え方を示したうえで、自転車専用通行帯を含めた整備形態(案)について今後検討していきます。